

平成 26 年 6 月 30 日

平成 26 年度第 49 回関東中学校バレーボール大会における 「給水のためのテクニカル・タイムアウト」の取り扱いについて

関東中学校バレーボール競技部
部 長 勝見俊也
審判規則委員長 小野沢一宏

熱中症予防の観点から、去る 5 月 22 日に開催された関東中学校バレーボール競技部常任委員会において、本年度 8 月 7～9 日に栃木県で開催される平成 26 年度第 49 回関東中学校バレーボール大会で「給水のためのテクニカル・タイムアウト」を採用し、次のように取り扱うこととなりました。

- 1 今大会では、各セット（第 3 セットを含む）において、リードするチームが 13 点に達したとき、30 秒間のテクニカル・タイムアウト(以下 T T O)が自動的に適用される。その際、副審が吹笛をしコートを退くよう促し計時をする。ハンドシグナルは示さない。
- 2 この T T O は給水を目的とするものであり、その間選手はウォームアップ・エリアで給水を行う。またスタッフはベンチに座っていることとする。
- 3 第 3 セットは、13 点でチェンジコートをした後に引き続き T T O となる。その際、主審側を通過してコートを移動したチームがベンチ前のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛をし計時を始める。
- 4 正規の中断の要求やリベロ・リプレースメントよりも T T O を優先する。正規の中断やリベロ・リプレースメントを行う場合は、T T O の後にその手続きをする。

以 上